

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

<p>事業番号 C-1-1                  事業名 農山漁村地域復興基盤総合整備事業（復興整備実施計画）（亶理地区）</p>
<p>事業費 総額 117,188千円</p>
<p>事業期間 平成24年度～平成27年度</p>
<p>事業目的・事業地区                  亶理町内の亶理地区において、津波により被災（浸水）した農山漁村地域の復興を目的に行う農地等の生産基盤整備（区画整理 A=1150.0ha）事業の実施計画策定を行う。単なる原形復旧だけではなく、大区画化により農地の面的な集約，経営の大規模化・高付加価値化を行い，収益性の高い農業経営の実現を目指し，復旧・復興を加速化させるもの。</p> <p>地区名 亶理地区                  面積 A=1,150ha</p> <p>亶理町震災復興計画                  該当箇所：P34 農林業の復興「主な事業等」                  概要：大規模ほ場整備事業の推進</p>
<p>事業結果                  地区名：亶理（計画設計 1,150ha）</p> <p>&lt;平成24年度～平成27年度&gt;                  ・基礎調査・基本計画作成 一式 89,243千円</p> <p>&lt;平成24年度&gt;                  ・事業計画書作成 一式 27,945千円</p>
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎調査・基本計画作成と計画書作成を並行して行うことで，迅速な復旧・復興への取り組みが可能となった。</li> <li>・収益性の高い農業経営の実現を目指し，農地の原形復旧に止まらず，生産基盤の復興を確立するため，区画形状の拡大，用排水路の完全分離化を実現し，生産コストの低減化と耕地の汎用化を図り，農業経営の安定化を図る計画とした。</li> <li>・事業確定後も基礎調査の実施により，地盤沈下による地下水や用水源への塩水の流入状況を把握し，適切な営農障害対策の推進を図ることが出来た。</li> </ul> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費の設計・積算は土地改良工事積算基準等により実施し，宮城県財務規則等に基づき入札を行い業者を選定している。</li> </ul>

③事業手法に関する調査・分析・評価

・亘理地区における農山漁村地域復興基盤総合整備事業（復興整備実施計画）は、以下のとおり、概ね予定どおり事業を進めることができた

<想定した事業期間>

基礎調査・基本計画作成 一式	平成24年2月～平成28年3月
事業計画書作成 一式	平成24年6月～平成25年3月
（「荒浜北部」事業計画確定	平成25年5月）
（「吉田西部」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田南部」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田中部」事業計画確定	平成25年6月）
（「高屋・鳥屋崎」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田東部1期」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田東部2期」事業計画確定	平成25年6月）

<実際に事業に有した事業期間>

基礎調査・基本計画作成 一式	平成24年4月～平成28年3月
事業計画書作成 一式	平成24年6月～平成25年3月
（「荒浜北部」事業計画確定	平成25年5月）
（「吉田西部」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田南部」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田中部」事業計画確定	平成25年6月）
（「高屋・鳥屋崎」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田東部1期」事業計画確定	平成25年6月）
（「吉田東部2期」事業計画確定	平成25年6月）

事業担当部局

農政部農村振興課 電話番号：022-211-2862